



学校だより

平成22年 9月30日
江戸川区立清新第一小学校
江戸川区清新町1-4-19
NO.7

豊かな環境から豊かな体験活動が生まれ、豊かな心が育つ

校長 甲斐 裕子

「校長先生、バッタを2匹も捕まえたの。」「見て、カマキリのメスだよ。卵を産もうとしているんだ。」休み時間が終わると、子どもたちが目を輝かせて私に見せに来てくれます。放課後も、わざわざ私のところまで走って来てくれて、「校長先生、これどうぞ。」と、かわいい小花やさまざまな種を私の掌に置いていってくれます。清新一小の校庭は、本当に豊かな自然でいっぱいです。そして、心のやさしい子どもたちでいっぱいです。

今の時代では、大変羨ましい自然環境が日常の環境なので、子どもたちは幸せです。学習活動をこの自然の中で、実際に体験しながら学ぶことにより、確かな学びに結びついていくのだと実感いたします。感動をもって学んだ心は、誰かと共有したいと思うものです。そんな気持ちから、着任したばかりの私にも心を和ませてくれるような声かけをしてくれるのですね。嬉しく思います。

半年後の平成23年度から、小学校ではご存じの通り、新しい指導要領がスタートします。「新しい」といっても、「生きる力」をはぐくむ理念は引き継がれます。その理念は大きく3つに要約されます。

「生きる力」の理念

- ① 将来の職業や生活を見通して、社会において自立的に生きるために必要とされる力
- ② 基礎的・基本的な知識・技能をしっかりと習得させるとともに観察・実験やレポートの作成、論述といった知識・技能を活用する学習活動を行い、はぐくむ思考力・判断力・表現力。
- ③ 各教科における言語活動や体験活動の充実を図ることによりはぐくむ他者、社会、自然・環境とかかわる力及び自分への自信

③について、考えてみます。算数の授業では、問題を解決することで終わりではなく、その考え方を友達に分かりやすく説明できることが大切です。伝えるための言語活動の充実が必要となってきます。豊かな環境から生まれる豊かな体験活動。先日4年生が社会科の昔の道具の学習で、「七輪」を使って、火起こし、餅焼きの体験活動を行いました。多くの学習ボランティアの方々がサポートしてくださいました。

「実際に体験してみて、失敗してもくじけず、次への改善策を考える。友達と助け合う喜びを感じる。自分はやればできるという達成感や自信をもつ。次へのステップへ挑戦する意欲を広げる。」

このようにすべてつながって、豊かな心、生きる力が育っていきます。

豊かな環境は、放っておいてできるものではありません。PTAのさまざまなボランティアの方々も惜しみなくその力を注いでくださっています。心より感謝いたします。

環境は完全に整っています。さらに、子どもたちへ自尊感情・自己肯定感やたくましい心等、「生きる力」をはぐくむべく、日々努めてまいります。

～読書の秋に～

図書ボランティアによって秋らしい飾りに模様替えされた図書室では、朝から本を読む姿が見られます。春に購入した230冊の本に加えてこの秋新たに725冊の本が学校に届き、調べ学習に役立つ本や読み物など、ますます一小の図書室は充実してきました。今年度の一小の秋の読書週間は11月24日から12月3日の予定です。魅力的な図書室で本が好きな児童がさらに増え、読書が深まることを願っています。